

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

平成30年12月10日

計画の名称	市街地環境の整備改善（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	蕨市													
計画の目標	密集市街地の整備改善にあたっては、既存の都市インフラやコミュニティなど、地域の特性を活かしつつ、老朽住宅の建替えと公共施設の整備を促進し、防災性の向上やにぎわいの創出、良好な商業と住環境の改善を図ることで、魅力あふれるまちづくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		396	A	374	B	0	C	22	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	5.55	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	整備計画に位置付けた地区公共施設整備の進捗率（用地取得面積の割合）を85％に向上			
	地区公共施設整備の進捗率	80％	83％	85％
	地区公共施設の用地取得済面積／地区公共施設の全体面積			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	蕨市	間接	民間	-	-	中央第一地区住宅市街地 総合整備事業（密集住宅 市街地整備型）	密集市街地の整備・6.6ha	蕨市 / 中央第一 地区	■	■	■	■	■	13		-	
	A16-002	住宅	一般	蕨市	直接	蕨市	-	-	中央第一地区住宅市街地 総合整備事業（密集住宅 市街地整備型）	密集市街地の整備・6.6ha	蕨市 / 中央第一 地区	■	■	■	■	■	361		-	
											小計							374		
											合計							374		

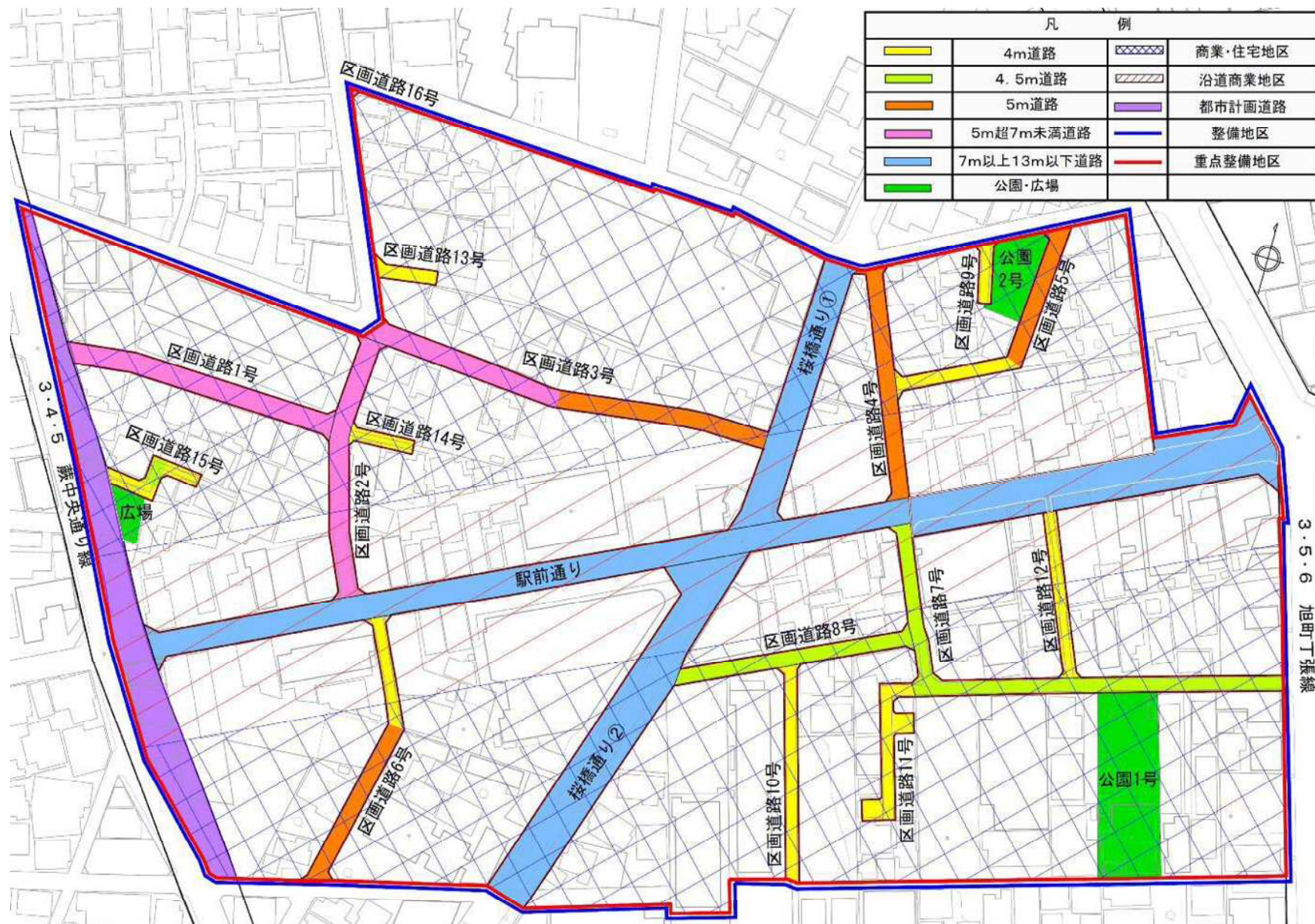
C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	蕨市	間接	民間	-	-	工作物除却事業	地区公共施設に抵触する工作物の除却	蕨市 / 中央第一地区	■	■	■	■	■	1	-	
		地域住民が行う工作物除却事業に対して助成することにより、地区公共施設に係る用地買収を促進させ、魅力あるまちづくりを早期に実現する。																	
	C16-002	住宅	一般	蕨市	直接	蕨市	-	-	接道不良宅地買収事業	接道不良宅地の買収	蕨市 / 中央第一地区	■	■	■	■	■	13	-	
		接道不良宅地を買収し、老朽建築物の除却を行うことにより、住環境の改善を図る。																	
	C16-003	住宅	一般	蕨市	直接	蕨市	-	-	地区公共施設整備ワークショップ開催等事業	ワークショップの開催等	蕨市 / 中央第一地区		■	■	■	■	8	-	
		地区公共施設の整備にあたり、ワークショップの開催等により、魅力あるまちづくりを実現する。																	
												小計						22	
											合計						22		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	R05
配分額 (a)	9	22	9	18	16
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	9	22	9	18	16
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	2	0
支払済額 (e)	9	22	7	20	16
翌年度繰越額 (f)	0	0	2	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	1	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	11.11	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			既存建築物が支障となり、 家屋等調査に時間を要したため		

計画の名称	市街地環境の整備改善（防災・安全）		
計画の期間	平成31年度 ～ 平成35年度（5年間）	交付対象	蔵市



事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地環境の整備改善（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 「コンパクトシティ蔵」将来ビジョンとの整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（安全面、衛生面等の居住環境の改善）	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（住宅・建築物の安全・安心確保）	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（良好な住環境の整備）	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（地域の特色ある街並みの整備）	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じたきめ細やかな事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○